

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～

太陽光発電とカーボンハーフ

▶さい生かのうエネルギーとは

しげんにかぎりのある化石ねん料（石油、石炭、天然ガスなどのエネルギーしげん）とちがい、しげんがなくなることなく、くり返し利用できるエネルギーをさい生かのうエネルギーといいます。

さい生かのうエネルギーによる発電は、温室こう果ガスをほとんど出さないため、地球にやさしいエネルギーとして注目されています。



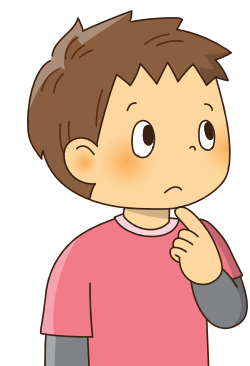
屋根の上についている太陽光発電



風力発電所（三重県伊賀市）

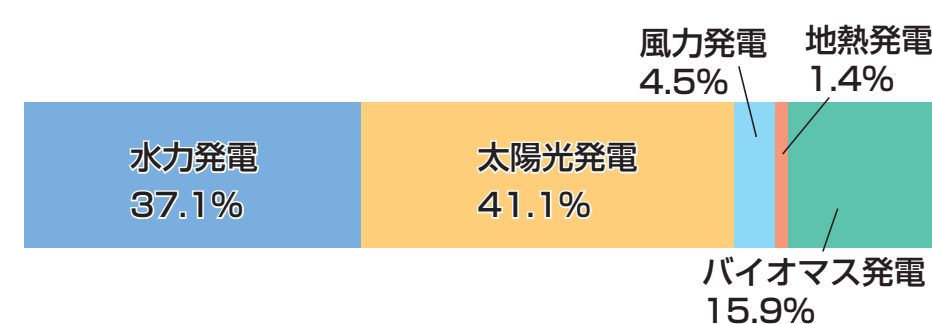


水力発電所（富山県立山町）



さい生かのうエネルギーとカーボンハーフは、どのように関わっているのかな。

さい生かのうエネルギーどう入のわり合



資源エネルギー庁「令和3年度(2021年度)におけるエネルギー需給実績(確報)」を基に作成

さい生かのうエネルギーによる発電で多いのは、どの発電かな。



自然の力を使っているから、くり返し利用できるんだね。



しらべてみよう

さい再生可能エネルギーのなかまたちを紹介！



「わが家の環境局長」事業

[東京都環境局]

▼クリック
<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/home/ecokids/index.html>



あなたを「わが家の環境局長」に任命します！



HTT <電力をHへらす・Tつくる・Tためる>の「Tつくる」だね。



HTT
TokyoTokyo

▶様々な場所で活やくする太陽光発電



恩賜上野動物園両性爬虫類館

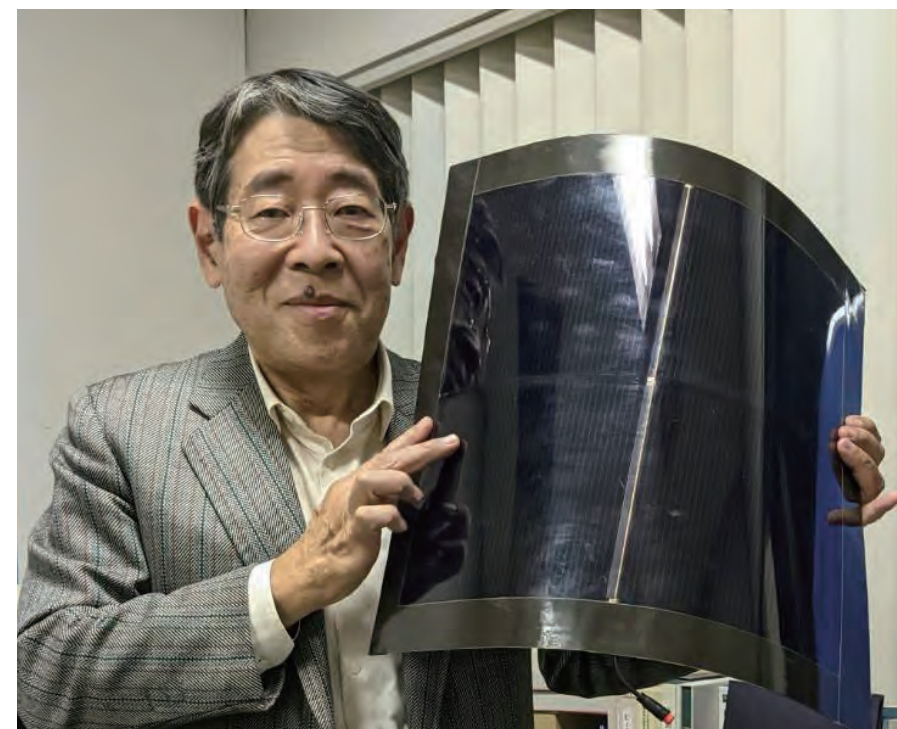


豊洲市場

画像提供：東京都卸売市場

東京都では、さい生かのうエネルギーのどう入かく大に向けた取り組みとして、都のしせつへの太陽光発電のせつ置を進めています。屋根に、発電よう量の大きい太陽光発電をせつ置しているしせつもあります。

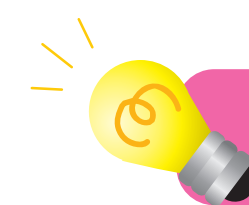
▶次世代型太陽電池「ペロブスカイト太陽電池」



宮坂 力 先生

桐蔭横浜大学の宮坂 力先生は、うすくて、軽くて、曲げることができるペロブスカイト太陽電池の研究・開発を行っています。

軽くて曲げることができるので、いろいろな場所にはり付けることができ、これまで発電ができなかった場所でも発電できるようになります。世界中で実用化を目指して取り組みが進められています。



考えてみよう

ペロブスカイト太陽電池が実用化されたら、どのような場所にせつ置ができるかな。